

## [020] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9892>

---

出版情報：中国文学論集. 20, 1991-12-31. 九州大学中国文学会  
バージョン：  
権利関係：

中国文学論集既刊総目録二（一九八二年第十一号～一九九一年第二十号）

1 総記

中国の文学と儒・俠との関係

目加田 誠 十九

岡村 繁 教授 略歴及び研究業績

十五

那須 清教授 略歴及び研究業績

十一

劉 三富 教師 略歴及び研究業績

十五

北京へ行ったところのこと

那須 清 十一

那須さんの北京語

上尾 龍介 十一

中国文学論集既刊総目録二

二十

2 先秦 兩漢

作為歌唱文学的『詩経』情詩

王 暁平 十九

先秦兩漢文学思想發展的特点 — 兼論文学的独立与自覚非自魏晋始 —

張 少康 十九

漢志「詩賦略」編纂と辞賦文学観

中村 昌彦 十四

— その東方朔排斥の理由を中心に —

中村 昌彦 十四

漢代辞賦の推移 — 「大人賦」の変貌を中心に —

中村 昌彦 十五

3 魏晋南北朝

曹操に於ける受命問題と「短歌行」周西伯昌詩

石 其琳 十六

曹丕「文気説」的來源及其評價問題

袁 濟喜 二十

王粲の詩賦とその志について

甲斐 勝二 十五

嵇康詩小考

自薦状としての張華「鷓鴣賦」

孫楚試論 — その反金人銘の創作意図について —

『芸文類聚』所引「搜神記」考

東晋画論における老荘思想の反映の仕方

関於中国山水詩的形成問題

古詩「上山采靡蕪」考

謝靈運詩における詩経

— 詩言志の伝統と叙景詩の成立に関する一試論 —

六朝文学評論史上における声律論の形成 — 沈約の四声応用説に至るまで —

文筆新解

文心雕龍研究的若干問題

『文心雕龍』風格論初探

『文心雕龍』における五経と文筆美

『文心雕龍』の基本的性格 — その創作論としての編述体系 —

『文心雕龍』の基本的性格 其二 — 寒門文士への創作論 —

『文心雕龍』の基本的性格 其三 (完結)

— 『文心雕龍』の諸子性について —

『隋書』経籍志集部後序の宮体詩観

索引：小西昇『漢代案府謝靈運詩論集』索引

甲斐 勝二 十四

田中 順子 十五

石 其琳 十八

多賀 波砂 十二

岡村 繁 十一

李 文初 十七

松浦 崇 十二

山崎 巧 十六

古川 末喜 十三

王 利器 十四

王 元化 十二

陳 書良 十三

岡村 繁 十三

甲斐 勝二 十一

甲斐 勝二 十八

甲斐 勝二 十九

中筋 健吉 十八

松浦 崇 十二

4 唐五代

杜甫における「懶」と「拙」

皎然詩論版本小議

白居易における詩集四分類についての一考察

元稹の「代曲老人百韻」詩について

漢唐之際的国語学

唐代別離考

唐宋時代的中日交往漢詩

楊貴妃文学史上における黄滔の「明皇迴駕経馬嵬賦」

晚唐五代四大家詞簡評

宋

5 宋

歐陽脩の夷陵貶謫と古文復興運動

歐陽脩の『居士集』編纂の意図

『白石道人歌曲』の旋律と詞牌

目録：欧陽脩研究論著目録稿（1945-1986）

6 明清

『龍図公案』編纂の意図

明代における包公説話の展開

—「成化説唱詞話」を中心として—

安東 俊六 十一  
陳 曦鐘 十六

静永 健 二十

二宮 俊博 十一

劉 三富 十二

松崎 治之 十三

孫 東臨 十四

竹村 則行 十八

葉 嘉瑩 十三

東 英寿 十六

東 英寿 十七

明木 茂夫 十七

東 英寿 十六

根ヶ山 徹 十四

根ヶ山 徹 十五

公安派与袁宏道的文芸思想

『還魂記』における杜詩の受容

『翡翠軒』残本考

清代小説における公案と武俠

明清時代における花の文化と習俗

紅樓夢における女人崇拜思想とその源流

王国維の境界説と田岡嶺雲の境界説

書評：小川陽一著『三言二拍本事論考集成』

書評：PATRICK Hanan's "The Chinese Short Story Studies in Dating, Authorship and Composition"

張 少康 二十

根ヶ山 徹 二十

阿部 泰記 十四

阿部 泰記 十九

合山 究 十三

合山 究 十二

竹村 則行 十五

阿部 泰記 十一

福満 正博 十二

7 近 現代

清末革命運動と周樹人

馮至与魯迅 — 関於《十四行集・魯迅》—

「郷土文学」作家としての魯迅と徐玉諾

現代中国における魯迅

— 初級・高級中学「語文」教科書を中心に —

抗戦以前の老舎文学の分期について

「女国土」— 論元曲「薛仁貴榮婦故里」—との関連をめぐって—

何其芳における「童年的王国」

王蒙『組織部新来的青年人』について — その執筆意図と文学史評価との乖離をめぐって —

牧角 悦子 十一

秋吉久紀夫 十七

秋吉 收 二十

永末 嘉孝 十一

斎藤 匡史 十三

松岡 純子 十七

秋吉久紀夫 十五

与小田隆一 十六

8 比較文学

中国志怪小説の日本に於ける伝播と影響

笠 征 二十

9 芸術

書評：孫玄齡著 田畑佐和子訳『中国の音楽世界』

明木 茂夫 十九

10 語学

『馬氏文通』における伝統小学の継承のしかた

書評：クリストフ・ハルプスマイヤー著  
— 兪樾『古書疑義举例』との関連性を中心に —

西山 猛 十六

報告：現代中国語の各種音声表記法について

— その中国語授業の発音指導への応用 —

西山 猛 十八

明木 茂夫 二十